会長の時間　　令和５年６月５日第２０９１回例会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　田中和俊

　イマジンロータリー！大学時代のお話ですが、大学２年にオートバイに興味を持った私は早速中型免許を取得して、４００ＣＣのオートバイを買いました。その時は寝ても覚めてもバイクのことばかり考えていました。その後、大学３年生になるころに限定解除をして９００ＣＣのオートバイを買いました。そのころから夏休みはオートバイで帰省するようになりました。川崎市から日向までフェリーに乗り一人旅です。よく他のライダーと一緒になって仲良くなったり、ツーリングに行ったり、東京のマンションに泊めてあげたりでした。当時は限定解除は難しく、教習所では扱われていなかったので試験場での試験しかありませんでした。決してうまくはない私はとにかく練習と思い、元白バイ隊員日本一の方が経営している八王子のライディングスクールモトテクニカというところで練習にはげみました。スラローム、波状路、一本橋とクリアして、後方確認、左右確認、メリハリのある走りができて初めて合格です。かなり走りこんでから受験したおかげで、東京府中試験場で１回目の試験で合格できました。

　アルバイトも３年生の夏休みから、友人の紹介で始めたとび職に変わりました。建設現場の足場を組む仕事です。小規模な経営の親方でしたので、大きなビルの現場はあまりなく、主に戸建ての建設現場でした。親方と二人で行くことも多く、親方が下から指示をして鉄パイプを伸ばしてきますから、それを受け取り、横にして組み上げていきます。立ててある鉄パイプを横にするのがとても力がいるんですよ。その頃はアルバイトと並行して、下北沢のキックボクシングジムにも通っていたのですが、月に１万円払って練習するよりも１日１万円もらえて鍛えられるバイトのほうがいいやと思ってジムは辞めました。ある日親方が、自宅兼置き場の地下にあるホンダの７５０ＣＣのバイクを乗らないからいらないかと言いました。いくらですか？と聞いたら７万円でいいと言うので、買いますと言って７日間ただ働きしました。買ったのはいいけど、しばらくは乗りましたが、２台もいらないので高校の先輩が大学を辞めて名古屋に来ているというので、帰りに乗って帰ってもらいました。そのバイクが先輩の自宅で朽ち果てているのを見たときはショックでしたけど。とび職のアルバイトも面白かったです。足場だけでなく、植木をしたり、年末年始は駅前でしめ縄を売ったり、神社のお祭りのときは飾りつけをしたりでした。親方がその地域の頭（かしら）と言われる人で、そういうことを頼まれる人だったようです。植木に行く家の方は、ＮＴＴを定年になった方で、家が杉並区の地主さんでお金持ちでした。１０時と３時のおやつはもちろんお昼ご飯も出してくださるんです。ガレージには高そうなジャガーのセダンがあるのですが、杉並の道は狭いのでもっぱら軽自動車で、新宿伊伊勢丹までいろいろ買いに行ってくださっていました。本当のお金持ちだなと思いました。現場が上棟式の時は、アルバイトの私までご祝儀やお弁当をもらったりして、とてもいい時代でした。大学時代の話はまた続きます。